

かみす **市議会だより**

◆発行：神栖市議会 神栖市議会だより編集委員会 〒314-0192 茨城県神栖市溝口4991-5
TEL.0299-90-1172(直) FAX.0299-90-1116 ◆ホームページアドレス <http://kamisu.gsl-service.net/>



令和2年4月11日から、新型コロナウイルス感染症対策のため、手指消毒液を市内9か所で無料配布しました。

定例会議決結果一覧	P. 2
議員による賛否一覧	P. 5
一般質問	P. 8
委員会での主な質疑内容	P.19
臨時会議決結果一覧	P.25
市議会のうごき	P.26

令和2年神栖市議会・第1回定例会

令和2年第1回定例会を3月10日から3月25日までの会期16日間の日程で開き、人事に関するもの2件、条例に関するもの12件、予算に関するもの12件、規約の変更に関するもの1件の計27件の審議を行いました。

議案第7号については、教育福祉委員会に再付託を求める動議が提出され、否決されました。

議案議決結果一覧

議案番号	件名	内容	議決結果
議案第1号	教育委員会教育長の任命について	新橋 成夫 氏を引き続き教育長として任命したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定に基づき、議会の同意を求めるものです。	同意
議案第2号	神栖市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るための行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律等の一部を改正する法律の施行による行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律及び行政不服審査法施行令の一部改正に伴い、書面審理に係る規定等を改めるため、所要の改正を行うものです。	原案可決
議案第3号	神栖市附属機関に関する条例の一部を改正する条例	地方自治法及び地方公務員法の一部改正により特別職非常勤職員の定義が厳格化されたことに伴い、委員会等の構成員の職の整理等に基づく附属機関の整理を行うため、所要の改正を行うものです。	原案可決
議案第4号	神栖市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	神栖市の特別職非常勤職員として公平委員会の委員及び福祉委員の職及び報酬額を定めるため、また、神栖市災害弔慰金支給審査委員会委員の報酬額を改定するため、所要の改正を行うものです。	原案可決
議案第5号	神栖市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険税の賦課限度額の引き上げ及び軽減対象世帯の拡大を図るため、所要の改正を行うものです。	原案可決

議案議決結果一覧

議案番号	件 名	内 容	議決結果
議案第6号	神栖市青少年センター設置条例の一部を改正する条例	地方自治法及び地方公務員法の一部改正により特別職非常勤職員の定義が厳格化されたことに伴い、青少年センターの組織の整理を行うため、所要の改正を行うものです。	原案可決
議案第7号	神栖市運動施設利用条例の一部を改正する条例	市内の運動施設におけるサッカー場の利用形態等を勘案し、利用面積区分及び利用料金の改定を行うため、所要の改正を行うものです。	原案可決
議案第8号	神栖市福祉委員条例	地方自治法及び地方公務員法の一部改正により特別職非常勤職員の定義が厳格化されたことに伴い、福祉委員の職を設置するため、条例を制定するものです。	原案可決
議案第9号	神栖市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、家庭的保育事業者等に関する連携施設の確保義務等に係る規定を改めるため、所要の改正を行うものです。	原案可決
議案第10号	神栖市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部改正に伴い、食事の提供に要する費用の取り扱い及び特定地域型保育事業者等に関する連携施設の確保義務等に係る規定を改めるため、また、文言の整理をするため、所要の改正を行うものです。	原案可決
議案第11号	神栖市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、放課後児童支援員の資格要件を改めるため、所要の改正を行うものです。	原案可決
議案第12号	神栖市子どもを虐待から守る条例	神栖市の未来を担う子どもを虐待から守るため、全ての市民が一体となって、地域の力で子どもと家庭を支える環境づくりを推進するため、条例を制定するものです。	原案可決

議案議決結果一覧

議案番号	件 名	内 容	議決結果
議案第13号	神栖市営住宅条例の一部を改正する条例	民法及び国の公営住宅管理標準条例案の一部改正に伴い、入居者の資格等を改めるため、また、一般市営別所住宅及び特別市営松崎住宅の解体に伴い、同住宅に係る規定を整理するため、所要の改正を行うものです。	原案可決
議案第14号	令和元年度神栖市一般会計補正予算（第8号）	歳入歳出それぞれ9億566万3千円を追加し、補正後の予算規模を472億234万5千円とするものです。	原案可決
議案第15号	令和元年度神栖市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ6,435万2千円を追加し、補正後の予算規模を94億8,584万円とするものです。	原案可決
議案第16号	令和元年度神栖市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	歳入歳出それぞれ2億6,389万円を追加し、補正後の予算規模を31億511万6千円とするものです。	原案可決
議案第17号	令和元年度神栖市介護保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）	歳入歳出それぞれ2億4,543万3千円を追加し、補正後の予算規模を55億7,230万9千円とするものです。	原案可決
議案第18号	令和元年度神栖市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	歳入歳出それぞれ629万8千円を追加し、補正後の予算規模を7億7,700万1千円とするものです。	原案可決
議案第19号	令和元年度神栖市水道事業会計補正予算（第2号）	収益的収入の予定額から4,596万7千円を減額し、33億5,857万8千円に、収益的支出の予定額から5,660万円を減額し、32億297万円に、資本的収入の予定額に3,008万7千円を追加し、4億24万2千円に、資本的支出の予定額に389万2千円を追加し、8億2,804万1千円とするものです。	原案可決
議案第20号	令和2年度神栖市一般会計予算	歳入歳出予算の総額は、447億5,800万円となります。	原案可決
議案第21号	令和2年度神栖市国民健康保険特別会計（事業勘定）予算	歳入歳出予算の総額は、88億8,291万円となります。	原案可決

議案議決結果一覧

議案番号	件名	内容	議決結果
議案第22号	令和2年度神栖市介護保険特別会計（事業勘定）予算	歳入歳出予算の総額は、54億1,200万6千円となります。	原案可決
議案第23号	令和2年度神栖市後期高齢者医療特別会計予算	歳入歳出予算の総額は、8億5,615万4千円となります。	原案可決
議案第24号	令和2年度神栖市水道事業会計予算	水道事業会計予算は、総額42億2,031万円となります。	原案可決
議案第25号	令和2年度神栖市下水道事業会計予算	下水道事業会計予算は、総額34億3,582万8千円となります。	原案可決
議案第26号	鹿島地方公平委員会共同設置規約の変更について	令和2年4月1日から鹿島地方公平委員会の執務場所を鹿嶋市役所から神栖市役所に変更することに伴い、地方自治法第252条の7第3項において準用する同法第252条の2の2第3項の規定に基づき、議会の議決を求めるものです。	原案可決
議案第27号	監査委員の選任について	石井 由春 氏を神栖市監査委員として選任したいので、地方自治法第196条第1項の規定に基づき、議会の同意を求めるものです。	同意

〈議員による賛否一覧〉

件名		秋嘉一	幸保正東	山本実	佐々木義明	神崎誠司	小野田トシ子	須田光一	石井由春	境川幸雄	額賀優	高橋佑至	西山正司	鈴木康弘	遠藤貴之	後藤潤一郎	五十嵐清美	佐藤節子	関口正司	飯田耕造	伊藤大	木内敏之	宮川一郎	長谷川隆	
議案第1号	教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	
議案第2号	神栖市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第3号	神栖市附属機関に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第4号	神栖市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○

〈 議員による賛否一覧 〉

件 名		秋 嘉一	幸 保正東	山 本実	佐 々木 義明	神 崎誠司	小 野田 トシ子	須 田光一	石 井由春	境 川幸雄	額 賀優	高 橋佑至	西 山正司	鈴 木康弘	遠 藤貴之	後 藤潤一郎	五十 嵐清美	佐 藤節子	関 口正司	飯 田耕造	伊 藤大	木 内敏之	宮 川一郎	長 谷川隆	
議案第5号	神栖市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○	○	
議案第6号	神栖市青少年センター設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○	○	
議案第7号 (再付託の 動議)	議案第7号を教育福祉委員会に再付託を求める動議	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	○	○	×	○	×	-	○	×	×	
議案第7号	神栖市運動施設利用条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	×	×	○	×	○	-	×	○	○	
議案第8号	神栖市福祉委員条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○	○	
議案第9号	神栖市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第10号	神栖市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第11号	神栖市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第12号	神栖市子どもを虐待から守る条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第13号	神栖市営住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○	○	
議案第14号	令和元年度神栖市一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第15号	令和元年度神栖市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○

〈 議員による賛否一覧 〉

件 名		秋 嘉一	幸 保正東	山 本実	佐 々木 義明	神 崎誠司	小 野田 トシ子	須 田光一	石 井由春	境 川幸雄	額 賀優	高 橋佑至	西 山正司	鈴 木康弘	遠 藤貴之	後 藤潤一郎	五十 嵐清美	佐 藤節子	関 口正司	飯 田耕造	伊 藤大	木 内敏之	宮 川一郎	長 谷川隆	
議案第16号	令和元年度神栖市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第17号	令和元年度神栖市介護保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第18号	令和元年度神栖市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第19号	令和元年度神栖市水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第20号	令和2年度神栖市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○	○
議案第21号	令和2年度神栖市国民健康保険特別会計（事業勘定）予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○	○
議案第22号	令和2年度神栖市介護保険特別会計（事業勘定）予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○	○
議案第23号	令和2年度神栖市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○	○
議案第24号	令和2年度神栖市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○	○
議案第25号	令和2年度神栖市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○	○
議案第26号	鹿島地方公平委員会共同設置規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第27号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○

【○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 -：議長】

※ 議案第27号の石井由春議員の退席は、地方自治法第117条の規定による除斥。

※ 議長の表決権：過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成反対が同数の場合、可決か否決か決定することになります。

一般質問

令和二年第一回定例会の一般質問は三月十一日と十二日に行われ、十一人の議員が市政全般について、市長はじめ関係部長等に見解を問いました。なお、掲載にあたっては一問一答形式で編集し、要旨を掲載してあります。詳細については、後日、会議録が神栖市議会ホームページに掲載されます。



高橋 佑至 議員

医療について

問 若手医師きらっせプロジェクトで教育研修プログラムなどを市独自で行う必要性と根拠を伺いたい。

(石田市長) 地域枠医師としての若手医師に来てもらえるよう、魅力ある指導医の確保、教育研修環境の強化を進めるよう市独自に機運醸成や支援に努めており、当プロジェクトの推進を通じて、医師確保のための基礎を固めていきたいと考えています。

問 神栖済生会病院の基本計画が未策定なのに、なぜ地域医療体制検討委員会で協議できるのか伺いたい。

(藤枝医療対策監) 医療資源が限られている当市にとって、現行の神栖済生会病院が急性期や救急医療を担う基本構想で掲げている将来像を踏まえると、市内の医療体制全般に様々な効果や影響を引き起こすため、新病院の整備と併せ、現時点から将来の情勢変化を見据えた各種対策を講じることが必要不可欠だと考えるからです。

問 若手医師きらっせプロジェクトや地域医療体制検討事業を神栖済生会病院整備事業と別で今行わなければならぬことの根拠を伺いたい。

(石田市長) 神栖済生会病院に再編統合が決まっている中、どういう形で済生会病院をはじめ、市内の三病院にドクターを集め、医療資源を集約していくかを今進めているところなので、これらは全くイコールの問題で、別問題ではありませ



かみすを好きな人があふれるまちづくりについて

問 ふるさと納税の寄附受入額が増えたのに、収支が赤字となる仕組みを伺いたい。

(野口企画部長) 収支は、一年度中の当市への寄附金額から返礼品発送等に係る経費及び市民が他の地方団体へ寄附したことによる住民税控除額を差し引くことで算出されます。また、住民税の減収分のうち七十五パーセント補填される普通交付税も、当市は不交付団体のため、交付税措置がありません。

問 ふるさと納税事業の赤字部分についての市長の見解と今後の神栖市の展望、展開を伺いたい。

(石田市長) 今の制度では、何かやらないと財源が外に行き赤字になってしまうので、それを改善するために新しい地場産品の開発をお願いしたり、様々な商店にもお願いして、商品を増やしてきました。その結果、寄附受入額が二年間で二億六千万円以上になりました。国の制度がある以上は、精一杯努力していきたいと思います。





額賀 優 議員

芸術文化振興知名度向上

問 フィルムコミッションの活用について伺いたい。

(石田市長) ドラマや映画

などの撮影場所や舞台となった場所へ、聖地巡礼といわれる観光客が見込まれることから、今後、聖地巡礼マップ等の作成を調査研究していきます。また、地域の活性化に必要な観光施策の推進等を目的とした地域おこし協力隊の活動内容にも取り入れ、市観光協会との連携によるソーシャルネットワーキングサービス等を活用した積極的なプロモーション活動について市としても支援、協力していきたいと考えています。

問 市役所内にフィルムコミッション推進室を設置する考えはないか。

(古徳産業経済部長) フィルムコミッション事業は、市観光協会の自主事業として取り組んできており、これまで築き上げてきた人脈やノウハウが重要なものとなるので、今後も市観光協会による活動に期待するところです。

※フィルムコミッション：映画やテレビ、CMなどの撮影を誘致する組織。

※ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)：登録した利用者だけが参加できるインターネットのウェブサイト。

問 将来的に現代アートフェスティバルの開催の考えはないか。

(野口企画部長) 平成二十八年度に開催された県北芸術祭のような事業は、莫大な予算と人員が必要となることから、極めて慎重な検討が必要であると考えています。

問 市として息栖神社を今後どのような施設として位置づけていくのか。

(野口企画部長) 現在、パワースポットとして注目を集めており、市としては、この機を逃さず、息栖神社を当市の一大コンテンツの一つとして磨きをかけていきたいと考えています。具体的には、新規事業のまじりにぎわいづくり事業の中の調査事業において、今後の誘客方策等を検討していきます。

問 息栖神社周辺整備について市の考えを伺いたい。

(野口企画部長) 息栖神社の周辺については、駐車場の整備や県の補助事業を活用して周辺森林の環境整備の実施を考えています。また、地区代表者や神社の代表者との意見交換では、神社として森林内の散策路整備といったアイデア等も聞いていますので、今後調査事業の中で、連携や役割分担についても検討していきたいと考えています。



問 当市を題材とした映画を誘致する考えはないか。

(古徳産業経済部長) 現在のところ具体的な計画等はありませんが、今後も県と市の両フィルムコミッションと連携を図り、情報を共有しながら、神栖の魅力を発信することができる作品の誘致について、情報の発信・収集に努めていきます。また、映画等制作の要請があった場合には、全面的に協力できるような関係機関等と連携し、体制づくりをしていきたいと考えています。





佐々木義明 議員

健康被害について

問 新型コロナウイルスの感染が判明した場合の対応について伺いたい。

(石田市長) 市は、保健所が実施する感染状況や発症までの接触者、立ち寄り先等の調査をサポートするとともに、感染者の勤務先等への対応について、保健所等に協力し、指導、助言等を実施し、感染者の行動範囲に公共施設等が含まれる場合は、閉鎖について検討します。感染者の移送が必要な場合は、保健所の要請に基づき、感染予防対策を施した特殊車両等により、消防署員が感染症指定病院等への移送を実施します。

防犯対策について

問 大野原及び大野原中央地区の防犯灯の設置状況について伺いたい。

(沼田生活環境部長) 令和二年二月末現在、大野原及び大野原中央地区では五百八十六基の防犯灯が設置されています。当該地区への設置については、設置基準ののっとり、地区からの要望等を受けて、精査を行い設置の取扱いについて協議、検討をしていきたいと考えています。

問 大野原地区の通学路等への防犯カメラの設置について伺いたい。

(沼田生活環境部長) 地区等から要望があった場合にプライバシーの保護について慎重に精査した上で、犯罪等の実態を把握している神栖警察署と協議検討していきたいと考えています。

学校給食の状況について

問 給食費未納への対応策について伺いたい。

(島田教育部長) 学校の取組としては、現年度分については保護者への電話連絡や家庭訪問を行うなどして、給食費の徴収を行っています。市の取組としては、小・中学校卒業生などの過年度分については、催告書を年に一度送付し、未納者への納付勧奨を行っています。在校生については、就学援助制度の活用を保護者に奨励していくことで、経済的理由による未納者を減らすよう努めており、加えて平成二十七年からは児童手当からの申出徴収が可能になったため、取納率向上に結びついていくと見込んでいます。

スポーツ施設の改善について

問 夜間照明が設置されていない施設への設置予定について伺いたい。

(島田教育部長) 夜間照明の各施設への設置については、当面予定はありませんが、運動施設における照明に対する利用者ニーズ等、必要性が高まってきた際は、周辺環境への影響等も含めて検討していきたいと考えています。



地域コミュニティの考えについて

問 地区加入世帯が減少している状況に対する取組を伺いたい。

(野口企画部長) 平成三十二年度からは地区脱退防止策に取り組んでいます。令和二年度は、市と各地区が相互に連携して対応していくため、高齢者世帯等の区費を減免するための財政面での支援や、中学校区ごとに区長会を立ち上げて、スケールメリットを生かした区長の負担軽減について行政委員連絡協議会と協議をしました。





鈴木 康弘 議員

道路の整備状況について

問 国道・県道・市道の整備・管理に関しての連携状況について伺いたい。

(竹内都市整備部長) 当市における国道と県道については、茨城県潮来土木事務所が所管していることから、例年同事務所が主催している管内の道路工事が道路占用工事関連事業者を対象とした連絡調整会議への参加をしているほか、必要に応じ担当者間で協議を行うなど、相互に情報の共有化を図っています。

問 市道の整備状況について伺いたい。

(竹内都市整備部長) 平成三十一年四月一日現在は、神栖地域八十六・七パーセント、波崎地域六十六・六パーセントであり、合併当初の十八年四月現在からの伸び率は神栖地域四・八ポイント、波崎地域四・七ポイントです。

問 波崎シーサイド道路の通行止めに対する解決に向けての取組状況について伺いたい。

(石田市長) 当市として、問題解決に向けて土地所有者と交渉を何度も重ねてきました。なかなか話し合いに進展が見えていない状況であり、令和元年十月には弁護士を交えて、問題解決に向けた今後の進め方について再確認を行ったところですが、現時点では通行止めの解除は困難な状況です。

雨水・排水に対しての取組み状況について

問 市内の下水道の普及状況について伺いたい。

(竹内都市整備部長) 下水道の平成三十年度末の整備率は七十八・九七パーセント、全体人口に対する供用開始区域内人口との割合である下水道普及率は、四十一・六パーセントです。北公共埠頭雨水幹線整備事業の第一分区整備率は四十五パーセントです。

問 排水路の管理状況について伺いたい。

(竹内都市整備部長) 市内にある排水路は国、県、市、土地改良区でそれぞれ所管しており、市の管理する排水路は、道路整備課・農林課・下水道課の三課で、利用目的等に応じた区分で所管しています。排水路の効率的な整備計画や維持管理を推進するため、市民目線からのわかりやすい

組織という観点から、利用目的に応じて段階的に所管の一元化を進めています。

問 土地改良区の排水路に対する市の対応について伺いたい。

(古徳産業経済部長) 当市では、土地改良区で行っている排水路ののり面等の除草や水路内の堆積土の掘削、補修などの維持管理にかかる経費について、国や県の補助制度の活用についての助言をしており、また、市独自の補助制度により支援をしています。



議会の傍聴について

新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴される方は、マスクの着用、咳エチケットの励行、手洗い・手指の消毒をお願いいたします。37.5度以上の発熱や体調不良がある場合は、傍聴をご遠慮くださいますようお願いいたします。

なお、本会議の様子は、神栖市議会ホームページからインターネット中継及び録画中継によりご覧いただけます。



神崎 誠司 議員

安心して暮らせる医療と福祉の充実について

問 令和二年度に予定している医療特別対策事業の内容について伺いたい。

(藤枝医療対策監) 令和二年度には、土台地区に診療所の新設が予定されているため、その開業資金としての貸付金や、二つの医療機関でCTの購入予定があることから、その補助金などを計上しているほか、新規事業として、神栖済生会病院の新病院の事業化に対して支援するための補助金を計上しています。

安心、安全な生活環境づくりについて

問 危険な箇所が散見される横瀬小学校及び神栖第三中学校区の通学路の安全対策について伺いたい。

(沼田生活環境部長) この学区では、学校関係者による通学路の安全点検や、停止線や横断歩道、スクールゾーンなどの塗り直しを実施するとともに、安全運転を促す学童注意の路面標示を新設をしました。また、通学路における犯罪等の発生を抑制するため、神栖警察署と協議の上、危険な交差点へ街頭防犯カメラの設置をしたほか、暗い箇所への防犯灯の整備や神栖市シルバー人材センターの青色防犯パトロール車による防犯活動を実施しています。

高齢者の交通安全対策について伺いたい。

(沼田生活環境部長) 令和

二年度から、新たに自家用車への後づけによるペダル踏み間違い急発進等抑制装置の設置へ補助を行う予定であり、補助の内容としては、国の安全運転サポート車普及促進事業費補助金を活用し、事業年度内に満六十五歳以上となる高齢運転者を対象に、国の補助金を差し引いた後の残りの金額の二分の一、上限三万円までの補助を予定しています。



防災、減災、自然災害の対応について

問 災害対応の現状について伺いたい。

(石田市長) 令和元年の一連の災害を受け、対応にあたった各班による意見交換会を開催し、災害情報の発信や避難所の運営、避難行動要支援者への対応等、反省点や課題、対応策について取りまとめを行い、避難所の職員配置計画の策定、職員の防災意識向上を図る研修の実施、市民への情報提供の強化などの方針を決定したところです。

問 どの避難所に避難すればいいのか市民への周知が足りないのではないかと。

(石田市長) 自主避難所、指定避難所ともに、いち早く避難所に来ていただくことを前提に、避難所ごとに受け入れ対象区域の指定はしていません。

予算編成について

問 市の公共施設が一齐に大規模改修や建て替え時期を迎えることにどのように対応していくのか。

(野口企画部長) 当市では、効率的な公共施設等の維持管理や建て替え、再配置等を進めるため、平成二十八年度に神栖市公共施設等総合管理計画を策定し取り組んでいるほか、財源確保策として、二十六年年度に積み立てを開始した公共施設整備基金や、除却事業等を対象とした地方債を活用し、財政負担の軽減、平準化を図っていきます。





西山 正司 議員

新型コロナウイルス対応について

問 鹿行地域それぞれの小・中学校の休校措置について伺いたい。

(島田教育部長) 多少の期間の違いはありますが、全市で臨時休校の措置を取っています。

問 このまま春休みまで休校を継続するのか伺いたい。

(島田教育部長) 現段階では感染対策をした上で、卒業式のみを実施することとしています。

空き家対策について

問 現在の空き家の件数と令和元年からの増加数について伺いたい。

(石田市長) 平成二十七年実態調査の件数から市が把握している所有者や市の略式代執行により解体されたものを差し引くと九百六十一戸です。令和元年からの増加数は把握できていませんが、令和二年度予定している実態調査で最新の件数が把握できると考えています。



問 今後の施策などを伺いたい。

(沼田生活環境部長) 現在、空き家所有者と利用希望者とのマッチングを図る空家バンク制度を運用していますが、今後は令和二年度に予定している第二期神栖市空家等対策計画策定の際に、先進団体で実施されている空き家のリフォーム助成や危険な空き家の除却助成等について検討していきます。

避難所プライバシーの保護について

問 避難所開設の基準について伺いたい。

(沼田生活環境部長) 台風等風水害時は、気象情報を収集し、当市に台風等が接近する恐れがある場合、避難時間の確保を考慮しながら自主避難所七カ所を開設し、その後、気象警報等の発令があった場合は、地域防災計画に基づき、避難準備等の発令と、併せて避難対象地区に指定避難所を開設します。

備等の発令と、併せて避難対象地区に指定避難所を開設します。

問 令和元年の一般質問で提案した段ボールベッド導入について、検討結果を伺いたい。

(沼田生活環境部長) より利便性の高い折り畳み式簡易ベッドを導入することとしました。

問 仮設小屋設備の導入も検討してはどうか。

(沼田生活環境部長) 設置が簡単なテント生地のパライシオンを備蓄しています。



市議会選挙の投票率について

問 期日前投票所の増設についての考えを伺いたい。

(鈴木総務部長) 市議会選挙では神栖市役所と波崎総合支所の二カ所で開設しましたが、当市の細長い地形を考慮し、中間地点への常設の期日前投票所の開設を検討します。

問 投票率向上のため、市内の小・中学校や高校生へのどのような取組を行っているか伺いたい。

(鈴木総務部長) 今回の市議会選挙では、高校生に商業施設での街頭啓発や期日前投票所の投票事務を行ってもらいました。また、取組として小・中学校や高校への選挙出前講座などを実施しています。



佐藤 節子 議員

学校のICT化とプログラミング教育の準備状況について

問 学校のICT（情報通信技術）化の状況について伺いたい。

（新橋教育長） 現在、市内無線LANの整備が市内小・中学校二十二校中十二校、一クラスに一台の設置を進めている大型モニターが全体の十一パーセント、児童生徒一人一台の導入を進めている学習者用端末が全体の十三パーセントの整備率であり、令和五年度までに、高速大容量通信ネットワークを整備し学習者用端末を完備したいと考えています。

問 ICT化によりどのような授業が可能となるのか伺いたい。

（新橋教育長） ICTを活用することで学習課題解決のための効果的な情報収集や、実現が難しい専門家や離れた学校間での交流を教室で簡単に行うことなどが可能となります。

問 プログラミング教育の内容について伺いたい。

（新橋教育長） 当市の小学校では、付箋を使って行動の順序が正しいか検討したり、体験型のロボット教材で風車を動かすプログラムを組むなど、問題解決における手順の大切さや身近な生活の中でコンピュータが活用されていることを実感できるように授業を行います。

災害時でのペットの受け入れ体制について

問 ペット受け入れの条件について伺いたい。

（沼田生活環境部長） 周りの避難者やペットに危害を加えないこと、避難所においても飼育可能なペットであることなど、今後、適正な受け入れ基準を検討したいと考えています。ペットの受け入れが可能になった際には、ペット用のゲージや備蓄品を準備していただくなど、ペットとの同行避難に関する心構えについても周知をしていきます。



問 令和元年の台風十九号におけるペット受け入れの対応について伺いたい。

（沼田生活環境部長） 電話等での問い合わせに対しては、受け入れは困難である旨の説明をしましたが、一部の避難所では、ペットと一緒に避難してきた方に対し柔軟な対応をして受け入れた避難所もありました。

神栖市内での道の駅あるいは直売所建設の見込みと方向性について

問 実現させる考えはあるのか伺いたい。

（石田市長） 全国有数である神栖市の産業と観光の情報発信や製品販売の拠点として検討を進めたいと考えています。検討にあたっては、利用者数の伸び悩みや、物販における品不足などが懸念されるため、その位置や規模、機能等について精査する必要があると考えています。

問 道の駅の登録要件について伺いたい。

（野口企画部長） 登録要件として、二十四時間無料で使える駐車場やトイレの休憩機能、道路情報や地域の観光情報、緊急医療情報などを提供する情報発信機能、文化教養施設や観光レクリエーション施設の地域連携機能のほか、施設及び施設間を結ぶ主要経路のバリアフリー化などがあります。





小野田トシ子 議員

公共交通整備事業について

問 デマンドタクシーの四つのエリアを二つにできないのか。

(野口企画部長) 民間タクシー事業者の事業活動への影響等を勘案し、市内を四つのエリアに分けて運行することとしたものであり、各生活拠点間の移動は、路線バスやコミュニティバスが担うものと想定していることを踏まえ、エリア設定については、引き続き神栖地域公共交通活性化協議会において慎重に検討していきたいと考えています。

問 高齢者への情報発信について伺いたい。

(野口企画部長) 市のホームページや神栖市公共交通案内サイト・かみす交通ナビ、各種広報媒体の活用、公共交通マップの配布等により市民への周知を図るとともに、令和元年は高齢者団体を対象としたデマンドタクシーの出前講座等を実施し、公共交通の利用促進を図りました。今後は、公共交通の利用意向の高い高齢者や障がい者団体を対象とした利用促進策等も検討していきたいと考えています。



介護保険事業について

問 同じ介護認定でも事業所により受けられるサービスに違いはあるのか。

(吉川福祉事務所長) 要介護度は、サービスを受けられる量を定めるものであり、受けたいサービスを本人が決定することで、同じ介護度でも受けるサービスは異なります。同じ通所型サービスを受ける場合でも、入浴介助や個別機能訓練、口腔機能向上など様々なサービスを加えて運営している事業所もあることから、サービスの違いにより費用負担も異なります。

問 避難行動要支援者の個別支援計画作成について伺いたい。

(吉川福祉事務所長) 避難行動要支援者のうち個人情報事前提供に同意された方については、市が避難行動要支援者名簿を作成し、名簿登録者には、市から委託を受けた居宅介護支援事業所のケアマネジャーの戸別訪問により、個々の災害時の避難場所や避難支援者等をあらかじめ定めておく個別支援計画を作成します。



災害対策事業について

問 矢田部地区の築堤の状況について伺いたい。

(石田市長) 令和元年十月の台風十九号に伴う豪雨により利根川が溢水し、家屋浸水などの被害が発生したことにより、難航していた用地交渉が整い理解を得られたことから、国の災害対策等緊急事業推進費を活用し、緊急的に利根かもめ大橋付近について工事延長三百六十メートルの築堤工事を発注し、既に契約済みと伺っています。

問 ハザードマップの見直しについて伺いたい。

(沼田生活環境部長) 市民が迅速に避難できるように見やすく分かりやすいマップとするため、国土強靱化地域計画の策定後に見直しを図っていきたいと考えています。



遠藤 貴之 議員

安全安心のまちづくり
について

問 雨水冠水の対策について伺いたい。

(竹内都市整備部長) 人口集中地区である神栖、平泉、平泉東の一部地域では、貯留機能を持たせた雨水幹線整備を進めています。また、はさき生涯学習センター付近では既存の排水施設等の改修を、本郷地区では排水路の新設又は改修のための設計を進める予定です。その他の地域については、対策が完了するまでの間、集中豪雨などにおける緊急措置として仮設ポンプによる対応を考えています。

問 利根川下流の堤防未整備地区の整備計画について伺いたい。

(竹内都市整備部長) 堤防整備を行う国土交通省利根川下流河川事務所によると、利根かもめ大橋から下流に向けて築堤工事及び用地買収を進めており、早期の完成に向け予算を確保しつつ、堤防整備を進めていくとのこと。市としても、堤防整備の早期完成に向けて要望活動等を行っていきたく考えています。

問 利根川治水事業における市の取組を伺いたい。

(竹内都市整備部長) 国土交通省及び茨城県と、銚子大橋周辺地域の治水対策について協議を続けているほか、令和二年二月には、国土交通省、気象庁、千葉県、茨城県、銚子市と利根川河口部水災害対策協議会を設立し、関係機関の連携・協力の下、防災・減災を進めていきます。

問 避難所の改善策について伺いたい。

(沼田生活環境部長) 令和元年の台風での経験を基に、災害情報取得のための防災ラジオの配備、避難所の床に敷くアルミマットの配備と体の不自由な方が利用する折り畳み簡易ベッドの拡充等を行っていきま



問 神栖済生会病院との連携状況について伺いたい。

(石田市長) 新病院整備の前提となる現病院の機能強化や経営改善のため、病院の自助努力を前提としながらも、市の既存の支援制度や若手医師きらつせプロジェクトなどによる支援強化に加え、令和二年度は、増大する新病院整備に係る事務が円滑に処理できるよう、市職員派遣による支援も検討しています。また、新病院長とは共に大学病院を何度も訪問し、大学との協力関係の構築に向けて力を合わせて進めています。



問 神栖済生会病院に対して今後どのような財政支援をしていくのか伺いたい。

(石田市長) 直接的な財政支援のみではなく、病院の診療機能や運営体制の充実強化のための取組や、病院の活性化や収益増につながる財政基盤の強化策への支援が必要であると考えており、既存の制度に加え、要望に応じてできる限りの支援を検討していきたく考えています。

問 新病院建設の計画が当初より遅れているのではないか。

(藤枝医療対策監) 市としても計画の遅れは懸念してきたところですが、単に遅れているという側面よりも、現有施設の中で診療機能の充実や運営状況の改善を実現すること、医師派遣の確実な見通しを得るために、新病院の具体的で魅力的な姿を示していくことが大切だと考えています。



山本 実 議員

神栖市議会議員選挙 について

問 投票率が低下した要因
について伺いたい。

(鈴木総務部長) 有権者の選挙への関心の度合い、若年有権者の政治・選挙離れなど、様々な要因が総合的に影響したのではないかと考えています。



問 意識調査の実施について伺いたい。

(鈴木総務部長) 令和元年七月の参議院選挙、二年二月の市議会議員選挙の投票率低下を受けて、有権者の意識を把握するため、また投票率向上に向けた基礎資料としての意識調査の必要性を改めて認識しています。今後は、より効果的な調査実施に向けて、他市町村の事例、調査項目や方法、実施時期等を含め調査・検討していきたいと考えています。

新型肺炎発生に伴う 危機管理について

問 危機管理体制について伺いたい。

(畠山健康福祉部長) 新型コロナウイルス感染症への対応を神栖市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき行うことを令和二年二月七日に市長、副市長、教育長、各部長を構成員とする

第一回新型コロナウイルス感染症連絡会議で決定し、その後、二回の連絡会議を経て、感染拡大の状況や首相の談話等からその必要性を判断し、二十八日には神栖市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置しました。

問 給食食材納入中止に伴う納入業者への対応について伺いたい。

(島田教育部長) 学校給食中止に至る事情を丁寧に説明することにより承諾頂いたところです。なお、中止要請が間に合わなかった納入業者については、調理場買取りや業者冷凍庫等にて保管の要請を行い、食材納入業者に経済的損失が生じないよう、可能な限りの対応を講じているところです。

市政運営について

問 政策の課題について伺いたい。

(石田市長) 地域医療の充実、防災・減災対策、交流人口の拡大、鹿島臨海工業地帯の競争力の強化、可燃ごみ処理施設の整備など、取り組まなければならない施策が数多くありますので、引き続き第二次神栖市総合計画に基づき、全力で各種施策に取り組んでいきます。



問 公約に関する今後の意気込みについて伺いたい。

(石田市長) 今後とも、総合計画に基づき、鹿島臨海工業地帯の将来を見据えた産業力強化プロジェクト、交流人口・定住人口の拡大に向けたイメーリアップ・定住促進プロジェクト、医療体制の充実や妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援を目指す子育て日本一プロジェクト、近年の災害等を踏まえた安全・安心で潤いあるまちづくりプロジェクトの四つの重点プロジェクトを掲げ、各種施策の取組を進めることにより、「かみすを好きな人があふれる魅力あるまち」を目指していきます。





関口 正司 議員

市議選について

問 平成二十四年の選挙時との違いを伺いたい。

(鈴木総務部長) 選挙事務の変更点として、当日投票所の数を一つ増やし、三十五カ所としたほか、選挙啓発として、メールマガジンやツイッターなどを活用した広報、消防出初め式や成人式典における啓発物品の配布などを行いました。



国保税について

問 国保支援の要請をしていただきたい。

(畠山健康福祉部長) 少子化対策と国保財政の基盤強化の観点から、例年、全国市長会等において子どもに係る均等割の軽減支援制度創設を国に要望しています。

問 税額の引下げを実施していただきたい。

(畠山健康福祉部長) 被保険者の減少とともに高齢化が進み、低所得者層が増加する一方で、医療の高度化等により、一人当たりの医療費が年々増加している現状では、国民健康保険税の引下げは大変困難なものと考えています。

六十五歳以上の医療費について

問 六十五歳以上の健康の現状について伺いたい。

(畠山健康福祉部長) 一定期間内に医療機関にかかった方の割合を示す受療率は、令和元年五月分では、入院に関して最も多いのは虚血性心疾患で〇・三六パーセント、二番目は消化器疾患で〇・一六パーセント、三番目は脳梗塞で〇・一四パーセントとなっております。外来は高血圧が十二・五パーセントと最も多く、二番目は糖尿病で八・三二パーセント、三番目は脂質異常で七・三四パーセントとなっております。



問 日常的に病院へ受診できる体制づくりについて伺いたい。

(畠山健康福祉部長) 地域医療体制検討委員会では、市民の医療需要に対して全てを市内で対応することは難しいため、市内完結型ではなく広域的な連携や役割分担を前提に考えていくこととしている一方、在宅医療など身近に診察を受けることができる医療機関については、誘致に努めることと協議されています。

給食費無料化について

問 無料化について市の考えを伺いたい。

(島田教育部長) 給食実施に必要な経費は、学校給食法第十一条において、施設整備、職員人件費等、管理運営に要する経費を学校の設置者である自治体が負担し、これら以外の食材料費は保護者負担とされています。

東海第二原発の再稼働反対を

問 市長として反対の意思表示をしていただきたい。(石田市長) 国・県、周辺自治体の動向等を見据え、社会状況等も十分注視した上で、判断したいと考えています。



委員会での主な質疑内容

本会議において十九件の議案が所管の常任委員会に審査付託となりました。慎重審査の結果、最終日の本会議において、十九件の議案は原案のとおり可決すべきものと報告されました。

◆総務産業委員会

(西山 正司 委員長)

〔議案第一号〕

問 条例改正に伴い、固定資産評価審査委員会の業務内容が変わるのか。

答 条項関係の整理であり、業務内容の変更等についてはありません。

〔議案第三号〕

問 附属機関の数について伺いたい。

答 現在附属機関は十二機関あり、新たに三十七機関

を位置付け、役割終えた三機関を削り、全体で四十六機関となります。

問 神栖市PFI事業審査委員会は必要なのか。

答 公共施設等を整備する手法としてPFI導入の効果が見込まれる場合、PFI事業審査委員会等の意見を踏まえ、最終的な整備手法を決定していくことから、必要であると判断しています。

問 PFI：公共施設等の整備等を民間の資金、経営能力、技術的能力を活用して行う手法。

◆教育福祉委員会

(鈴木 康弘 委員長)

〔議案第七号〕

問 海浜サッカー場の年間維持管理費はどのくらいか。

答 年間の維持管理費は、約五百万から六百万円です。その他、人件費や水道代、電気代などがかります。

問 利用料金が倍になるが、利用団体に説明したのか。

答 市サッカー協会と改修後の活用方法等とあわせて相談しています。料金の値上げについての意見はありませんでした。

問 市民のためにも料金を再考してほしい。

答 料金の設定については近隣のサッカー場を参考に、また、利用促進等を鑑

みて設定したものです。

〔議案第十二号〕

問 虐待に関する議員への情報提供が続いた状況について伺いたい。

答 要保護児童対策地域協議会において、関係機関との連携を図ることにより、早期の通報が増え、数の増加につながっているものと考えています。

問 条例をどのように広報していくのか。

答 広報紙やホームページのほか、研修会や子育てイベントなど、機会を捉えて児童虐待防止に向けて、情報提供を積極的に行い、保護者や市民の責務の啓発に努めていきます。

問 児童相談所との関係や役割が変わるのか。

答 児童相談所の対応等については、児童虐待の防止等に関する法律において定

められており、児童相談所との関係や役割が変わるものではありません。

◆都市環境委員会

(遠藤 貴之 委員長)

〔議案第十三号〕

問 連帯保証人を免除する要件について伺いたい。

答 高齢者や障がい者、子どもを養育している人などの住宅確保要配慮者とされる方について、免除できるようにしたいと考えています。

問 すでに連帯保証人となっている方も、要件を満たすことで連帯保証人を外れることができるのか。

答 今回の改正では、改正前の入居者については、従前のままとしています。今後検討していきたいと考えています。

問 実際に連帯保証人に請求をするのか。

答 入居者が支払えなくなった場合、条例上は、連帯保証人に請求をすることになっていきます。

問 家賃滞納の状況について伺いたい。

答 平成三十年年度分で、現年度分百四万三千六百八十七円、過年度分二千七百五十八万三千二百三十二円が滞納となっています。滞納整理については、茨城県住宅管理センターに委託し、個別訪問や電話催促等を行っています。

**◆ 予算決算常任委員会
(五十嵐清美 委員長)**

◆ 総務産業分科会

〔議案第二十号 歳入〕

問 森林環境譲与税の内容について伺いたい。

答 森林経営管理制度の導入に合わせて、令和元年度から事業が開始され、市町村や都道府県に対して私有林人工林面積、林業就業者数及び人口による基準で按分して譲与されるものです。個人住民税の均等割の枠組みを用いて、国税として一人年額千円を市町村が賦課徴収し、課税の開始時期は六年度を予定しています。

問 市税の滞納繰越額は減額傾向なのか。

答 平成三十一年度と令和二年度との比較で、個人市民税及び軽自動車税については同程度、法人市民税及び固定資産税については、財産調査の結果、滞納税圧縮につながる財産もないことによる不納欠損が見込まれるため、減額と見込んでいます。

問 交通安全対策特別交付金の減額の要因を伺いたい。

答 財源は交通違反の反則金であり、交付実績は平成二十八年度が千六百七十七万七千円、二十九年度が千四百四十万千円、三十年年度が千四百三十三万千円となっており、三十年年度の交付額に減少率を乗じて算出したためです。

〔議案第二十号 歳出〕

問 記念事業寄附金における寄附金額算出の根拠を伺いたい。

答 高等学校から事業計画を提出していただき、市内に住所を有する在校生及び卒業生の比率に応じて算定しています。

問 今後どのような形で財政改革をしていくのか。

答 これまでの行財政改革の取組を進展させ、削減に重点をおいた取組だけでなく、

行財政資産を最大限活用し、効率的なマネジメントの視点から取組を推進していきます。

問 市政モニターの実施内容は誰が決めているのか。

答 年間六回の施策説明会を実施しており、第一回説明会において、モニターに対して施策説明会の実施内容について希望を取っています。

問 執行部としてタブレット端末の導入を検討しているのか。

答 定例会において試験的に三台のタブレット端末を議場に持ち込み、試行しています。使用した職員からは、有効的との意見もありましたが、幹部職員においては活用できる機会が少ないことや、本格的に運用するには、議場内での通信、電源環境の整備が必要となることが課題となっています。

問 コミュニティセンター職員の選任基準を伺いたい。

答 コミュニティセンターのセンター長といわれる、局長職及び次長職については、市で採用しています。採用にあたっては、募集を行い、応募者の中から面接等を実施した後に人選します。

問 神栖市次世代応援基金の目的を伺いたい。

答 市の将来を担う世代の育成に寄与するための様々な事業に充てるものであり、令和二年度における事業の充当予定では、文化スポーツ課の文化芸術振興事業、学力向上振興事業、中央公民館の定期講座講習会等事業などに千五百万円を充てる予定です。

問 公用車の車検切れ事案に対する再発防止策について伺いたい。

答 今回の事案が発生する前から、令和元年度中において公用車管理台帳システムの運用を予定していましたが、システムの中で、市が所有する公用車・専用車全ての車両の車検状況を確認することが可能となりましたので、再発防止に生かしていきます。

問 コミュニティバス利用者のために、自転車駐輪場や送迎車待機場所を設置してもらえないか。

答 常陸川水門（逆水門）手前のコンビニエンスストアと調整を行っているところです。

問 市独自の情報発信を考えているのか。

答 令和元年度の広報戦略の委託事業において、市民有志により四本動画を製作し、情報発信サイトを構築

しました。SNSで情報発信することから、ある程度技術習得が必要であることから、市民や職員に対する研修を考えています。

問 国勢調査費の推移を伺いたい。

答 令和二年度予算が五千二百八十八万六千円、平成二十七年年度予算が五千四百三十一万七千円であり、金額の差は主にシステムのソフトウェア購入費によるものです。

問 防災センター会議室の使用条件は、防災活動に使用する場合となっているが、変えることはできないのか。

答 使用については、防災に関する啓発物やポスターの掲示をすることを条件に、事務利用ができるように変更しています。

問 神栖地区の地籍調査はどれくらいかかる見込みか。

答 七十年強かかるものと試算しています。

問 セーフティーネット保証四号、五号認定の申請状況を伺いたい。

答 現在までに四号認定の申請は一件あり、業種は食品製造業となっています。五号認定の申請はありません。

問 北公共埠頭が完成に至っていない理由を伺いたい。

答 現在、整備状況が三割程度であり、理由としては用地の取得問題等があったと伺っています。市・県・

企業とともに、国へ要望しているところですが、国からは整備に多額の事業費が伴うため、これに見合う貨物取扱量を増やすよう話をされており、令和二年はコンテナ貨物の助成制度等を

倍増させ、より一層の集荷に努めています。

問 商工会館の解体に伴い、商工会はどのように考えているのか。

答 商工会には商工会館の解体と事務所の移転については、一定のご理解はいただいているものと考えています。今後の事務所のあり方については、検討をいただいているところですが、現状では結論が出ていない状況です。

問 コンテナ貨物の取扱量を伺いたい。

答 平成三十年は五千四百三十八TEU、令和元年は暫定値で一万二百二十二TEUで二倍となっています。

※TEU：国際標準規格の二十フィートコンテナを一つとして計算する単位。

問 神栖市観光行事助成金交付要項には、かみす黒潮オープンテニス選手権の記載が無いが、どういった要件で交付したのか。

答 かみす黒潮オープンテニス選手権は、日本テニス協会のランキングに影響する大会であり、「かみす」の文字が当該協会のホームページに掲載されること、大会副賞として特産品のピーマンやサバ缶などの配布があること、大会パンフレットに当市の観光ガイドマップを折り込んでもらうことなどから、助成金交付が適当と認め、市長と協議した結果、交付をしました。



◆教育福祉分科会

〔議案第二十号 歳出〕

問 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度の緊急小口資金等の特例貸付について、問合せ等はあるか。

答 貸付の相談については、特に急激に増えている状況ではありません。

問 敬老祝金の見直しについて伺いたい。

答 今後については、支給額の減額や、節目の年での支給、滞納のある方への対応など様々なケースを検討しています。

問 かみす健康スポーツまつりの開催時刻について伺いたい。

答 令和元年度は午後の開催でしたが、二年度は、午前中に開催できるように検討します。

問 療育手帳の巡回相談の日数は増えたのか。

答 県の令和二年度の予定は、元年度と同様です。

問 地域交流・保健福祉機能拠点施設について、はさき福祉センターと機能が重複しないのか。

答 拠点施設には高齢者福祉に係るエリアはなく、重複する部分はありません。

問 保育所の待機児童についての今後の方策を伺いたい。

答 整備交付金を活用した小規模保育事業の新設や家庭的保育事業の普及を進めながら、需要の多い〇歳から二歳までを重点的に進めていきたいと考えています。



問 神栖市地域医療体制検討委員会における市による医療モール設置の意見について、財政負担が増えるのか。

答 医療モールは、不足する診療所誘致策の一つとして提案されたものであり、現行制度の拡充や市有地の貸し出しを含め、今後更に検討していきます。

問 診療所よりも、まず済生会を重点的に支援・充実させていくべきではないか。

答 神栖済生会病院だけでは診療の範囲に限界があり、周辺地域の医療機関との連携を前提に、診療所の進出が医療体制の整備に必要と考えています。

問 新型コロナウイルス感染症による令和二年四月六日以降の学校の対応について伺いたい。

答 現時点では、四月六日に入学式を行う予定ですが、現状も絶えず変化していることから、適宜対応していきたいと考えています。

問 新型コロナウイルス感染症対策に伴う学習指導補助員等の保障について伺いたい。

答 国の動向も踏まえて、それに準じて対応したいと考えています。

問 海外派遣研修の場所について、姉妹都市のユウリカ市を検討したのか。

答 語学研修の実施にあたり、ユウリカ市とも調整を図りましたが、受入体制の整備ができないとの回答があり、今回の候補からは一旦見送りました。

問 ネット環境が日々進化していくなか、教育研修施設の設備投資は妥当なのか。

答 ネットによる自宅等での研修も可能ですが、年百回以上の研修会の実施が想定され、また、教員が集まり、指導法や実験・実技について研修する場として有効に活用していきたいと考えています。

問 公共施設のネット予約の状況について伺いたい。

答 運動施設のうち波崎体育館及び土合体育館ではネット予約が出来ない状況です。公民館の会議室等の予約申請は、行っていない。

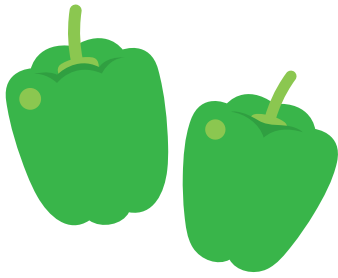


問 体育施設整備事業について、プールの建設場所について伺いたい。

答 候補予定地である波崎体育館周辺については、関連する体育施設群などがあること、特に波崎地区のプールの老朽化が著しいこと、波崎第一中学校はプールがない状態であることなどから検討したものです。

問 新規事業の地産地消給食の推進について伺いたい。

答 地産地消給食の日として、六月中に一回実施する際の費用として計上しました。通常の賄い材料でも地元産及び地元業者からの購入を引き続き行います。



〔議案第二十二号〕

問 現在の介護保険料はいくらか。当初からどれくらい伸びているのか。

答 介護保険料は、現在、所得要件により十一段階に分かれています。第五段階の月額五千四百円、年額六万四千八百円が基準額となります。第一期の基準額は月額二千四百二十円、年額二万九千四百十円でしたので、約倍近くになります。

問 第八期介護保険事業計画の中で施設について計画していくのか。

答 現在、特別養護老人ホームを計画しているところが一施設あり、県に認可されれば広域型の特別養護老人ホームが一施設増える予定です。

〔議案第二十三号〕

問 神栖市で二十二十五年にピークを迎える後期高齢者の人口はどのくらいか。

答 二十二十五年に七十五歳を迎える方の人数は、千三百四十九人ぐらいを想定しており、同程度の人が後期に移行すると考えています。

問 後期高齢者人口によって、後期高齢者医療広域連合に委託金を支払いしているのか。

答 共通経費は、人口割、均等割、高齢者人口割という三つで負担しています。

◆都市環境分科会

〔議案第二十号 歳出〕

問 空家対策について伺いたい。

答 空家対策として、所有者に助言や指導を行うほか、所有者と空家を利用し

たい方とのマッチングを図る空家バンクの運用をしています。今後は、先進地の取組を参考に、空家のリフォーム助成や危険な空家の除却助成などについて検討したいと考えています。

問 CO2排出量削減の取組について伺いたい。

答 市では補助事業として、住宅用太陽光発電システム設置促進事業補助金や、住宅用創・蓄エネルギー機器設置促進事業補助金などを、啓発事業として、家庭及び事業所への節減チラシの配布や、緑のカーテンコンテストなどを行っています。

問 廃棄物減量等推進員制度が廃止されてしまったが、今後ごみの減量化をどのように進めていくのか。

答 制度廃止により、今後はボランティアとしての活動となるため、市でも支援をしながら、市民・企業・

行政が一体となって、ごみの減量化に必要な活動を行っていきたいと考えています。

問 し尿処理の収集運搬について、事業者数の推移を伺いたい。

答 現在、し尿処理収集運搬業者は九者あり、過去十年間で新規に許可を出した事業者はありません。

問 市営墓地の空き状況について伺いたい。

答 市内十カ所の市営墓地のうち、神栖市海浜公園墓地と神栖市公園墓地松濤園については、随時申請があれば受け入れできる状況です。そのほかの八カ所については、空き区画が出たときに申込みを行っています。

問 消防団員の成り手不足対策について伺いたい。

答 勧誘活動として、若者の目に届くようSNS等を活用した広報活動に取り組んでいるほか、団員報酬の改善についても、近隣自治体の状況を調査し、検討しています。

問 利根川河口の洪水対策について伺いたい。

答 堤防の整備については、国土交通省からは具体的なスケジュールは示せないとされていますが、事業の具体化に向けて、国・県の関係各課と協議を進めており、一部地区については、既設水路の逆流防止や内水処理についても協議を進めています。

問 堀割三丁目から深芝にかけての都市計画道路三・四・二二号線の整備は、いつ頃完成する予定か。

答 令和四年度完成予定となっています。

問 息栖神社周辺の駐車場整備の計画について、地域住民の声は反映されているのか。

答 息栖地区から市へ、駐車場整備についての要望があり、事業を進めるものです。

〔議案第二十四号〕

問 受水費の引き下げについて、県との交渉は進んでいるのか。

答 平成三十年八月に、鹿行五市で茨城県知事及び茨城県企業局長に対し要望書を提出しましたが、茨城県企業局長からは、今後の水道施設の耐震化への対応や企業債の返済などを踏まえ、令和四年度まで単価を据え置くとの見解であったため、今後も継続して要望していきます。

〔議案第二十五号〕

問 企業会計に切り替えた理由を伺いたい。

答 総務省からの通知により、人口三万人以上の団体においては、令和二年四月までに下水道事業へ公営企業会計を適用するよう要請されているため、導入するものです。

問 企業会計に切り替えることで、どのような利点があるのか。

答 経営の透明性や自由度が向上することにより、住民ニーズへの対応が早くなり、経営の効率化や住民サービスの向上につながります。

委員会が行政視察を実施

■生活環境行政、土木行政について視察 ＝ 都市環境委員会

2月12日から13日の日程で、群馬県桐生市の「きりゅう暮らし応援事業」について視察を行いました。

桐生市では、市の人口減少の抑制、移住・定住の促進、急増する空き家に対応するため「桐生に暮らすこと」に主眼を置いた助成（住宅取得応援助成、住宅リフォーム助成、空き家活用助成、空き家除去助成）を4本柱として取り組んでいます。また、助成時に子育て世帯や移住者などに対する加算補助を実施していました。



令和2年神栖市議会・第1回臨時会

令和2年第1回臨時会を3月2日に会期1日間の日程で開き、専決処分の承認を求めるもの1件の審議を行いました。

議案議決結果一覧

議案番号	件名	内容	議決結果
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて ・令和元年度神栖市一般会計補正予算（第7号）	ふるさと納税推進事業において、寄附の増加に伴い必要となる返礼品等に要する経費を措置するため、補正予算を計上するものであり、1月10日に専決処分したものです。	承認

〈議員による賛否一覧〉

件名	秋嘉一	幸保正東	山本実	佐々木義明	神崎誠司	小野田トシ子	須田光一	石井由春	境川幸雄	額賀優	高橋佑至	西山正司	鈴木康弘	遠藤貴之	後藤潤一郎	五十嵐清美	佐藤節子	関口正司	飯田耕造	伊藤大	木内敏之	宮川一郎	長谷川隆
議案第1号 専決処分の承認を求めることについて ・令和元年度神栖市一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○

【○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 -：議長】

※ 議長の表決権：過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成反対が同数の場合、可決か否決か決定することになります。

茨城県市議会議長会議員研修会

2月7日に、つくば市において茨城県市議会議長会主催の議員研修会が開催されました。

株式会社常陽産業研究所チーフエコノミスト尾家啓之氏による「人口減少下におけるわが国経済の展望」の講演を受講しました。

神栖市議会からは、藤田昭泰議長、飯田耕造議員、遠藤貴之議員、高橋佑至議員、額賀優議員が出席しました。



市議会のうごき

(令和2年3月～5月)

3月

- 2日 第1回臨時会
議員協議会
- 4日 議会運営委員会
- 10日 第1回定例会開会
市議会だより編集委員会
- 11日 一般質問
- 12日 一般質問
- 13日 議案質疑
- 16日 議案質疑
- 17日 各常任委員会
予算決算常任委員会分科会
- 25日 議会運営委員会
予算決算常任委員会
第1回定例会閉会
議員協議会

4月

- 14日 議員協議会
- 20日 鹿行広域事務組合議会議員
全員協議会・臨時会
- 22日 鹿島地方事務組合議会議員
協議会・臨時会
- 27日 市議会だより編集委員会
- 30日 議員協議会

5月 (予定)

- 12日 議員協議会
議会運営委員会
第2回臨時会
- 27日 鹿島地方事務組合議会臨時会

次回の6月議会予定

期日	曜日	日程(案)
16日	(火)	本会議(開会, 提案理由説明)
17日～18日	(水)～(木)	本会議(一般質問)
19日	(金)	本会議(議案質疑)
20日～21日	(土)～(日)	休会
22日	(月)	休会(各常任委員会, 予算決算常任委員 会分科会)
23日～25日	(火)～(木)	休会(議事整理)
26日	(金)	予算決算常任委員会 本会議(委員長報告, 討論, 採決, 閉会)

お知らせ

左の予定表は令和2年第2回定例会(6月)の議会予定です。変更になる場合がありますので議会の傍聴を希望される方は事前に事務局にご確認をお願いいたします。

※スマートフォンでも議会中継がご覧いただけます。

→こちらから

<http://smart.discussvision.net/smart/kamisu/>

[パソコン・スマートフォン共通]

編集委員会では、議会や本紙に対する皆様のご意見・ご要望などをお待ちしています。

〒314-0192

神栖市溝口4991-5

神栖市議会事務局

電話 0299-90-1172(直通)

Eメール: gikai@city.kamisu.ibaraki.jp

神栖市議会だより編集委員会
委員長 神崎 誠司
副委員長 佐々木 義明
委員 関口 正司
佐藤 節子
幸保 正東

(神崎 誠司)

新型コロナウイルスの感染により亡くなられた方々に心よりご冥福をお祈り申し上げます。
また、現在感染拡大による医療従事者の懸命な姿には、本当に大変だと思えます。心から感謝の思いをお伝え申し上げます。
三月議会は、予算に携わる議会です。活発な議論がなされました。
また、市議会だよりも、みなさんに読みやすく見やすい市議会だよりをめざしていきたいと思えます。

編集後記